

## 「はこだて医療・介護連携サマリー研修」(動画)について

## (1) 開催方法

【参加対象者】 函館市の医療・介護関係者・教育機関

【公開期間】 令和4年5月23日(月) 12時～6月19日(日)

【内 容】 講 演：「おもいやりのあふれる地域のために」

講 師： 北美原クリニック 岡田 晋吾 先生

説 明： はこだて医療・介護連携サマリートの説明

(サマリー、サマリーマニュアル等、活用方法のアレンジ等)

説明者： 情報共有ツール作業部会メンバー

函館市医療・介護連携支援センター

## (2) 参加状況

・動画閲覧人数 438 名

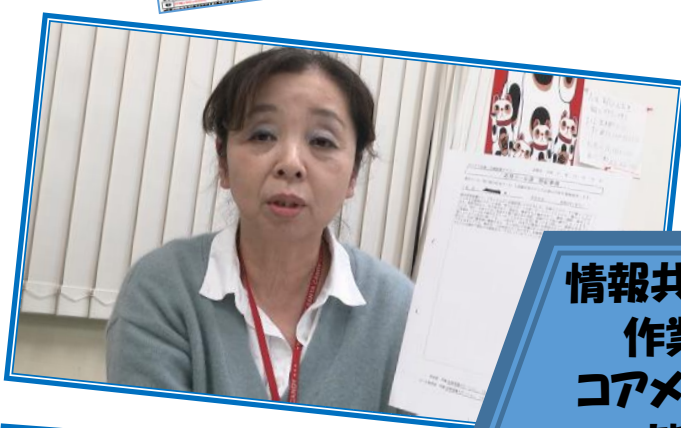
・動画閲覧回数 256 件

# はこだて医療・介護連携サマリー研修会

## ID Link



時間	内容	講師
10:00-10:30	開会式	佐藤 隆
10:30-11:00	道南医療連携の現状	佐藤 隆
11:00-11:30	道南介護連携の現状	佐藤 隆
11:30-12:00	道南連携の課題	佐藤 隆
12:00-12:30	昼食	
12:30-13:00	道南連携の展望	佐藤 隆
13:00-13:30	道南連携の推進	佐藤 隆
13:30-14:00	道南連携のまとめ	佐藤 隆
14:00-14:30	閉会式	佐藤 隆



情報共有ツール  
作業部会  
コアメンバーの  
皆さん



# 『はこだて医療・介護連携サマリー研修』(動画公開)

## アンケート集計結果 分析

アンケート回答件数	133件
動画閲覧件数	256件

n = 133 (回収率52%)

### 1. 所属機関をお聞かせください。(複数回答可)

・ 医療機関	47	(35.3%)
・ 介護機関	79	(59.4%)
・ 教育機関	2	(1.5%)
・ その他	5	(3.8%)

### 2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。(複数回答可)

・ 医師	2	(1.5%)
・ 薬剤師	39	(29.3%)
・ 保健師	4	(3.0%)
・ 看護師	25	(18.8%)
・ ケアマネジャー	71	(53.4%)
・ 相談員	13	(9.8%)
・ 介護職員	12	(9.0%)
・ リハビリスタッフ	5	(3.8%)
・ 管理栄養士・栄養士	1	(0.8%)
・ 鍼灸師・マッサージ師	0	(0.0%)
・ 福祉用具関連	0	(0.0%)
・ 事務員	13	(9.8%)
・ 教員	2	(1.5%)
・ その他(救急隊員5名, 施設長3名)	8	(6.0%)

### 3. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？

・ 深まった	123	(92.5%)
・ どちらともいえない	6	(4.5%)
・ あまり深まらなかった	1	(0.8%)
・ 無回答	3	(2.3%)

#### 【ご意見等】

- ・ 内容が分かり易く、函館市が発祥の物が複数あった事に驚きがありました。また、講演の機会がございましたら参加させて頂きたいと感じております。ありがとうございました。
- ・ 共有ツールを使用する事で患者（利用者）の病状やADLが把握でき、スムーズな治療ができると思いました。
- ・ 現役医師の生の声、考え、取り組みなどが聞けたことが良かった。
- ・ 入院時連携やフェイスシートとしていつも活用させていただいています。

- ・利用者様の生活状況や本人、家族の意向などを応用ツール⑱に記載することで関わる関係者が共有できることは以前にも研修で習ったのですが、改めて活用していこうと思いました。
- ・連携サマリー作成までの経過、この地域（規模）だからこそ可能となる共通ツールであることを改めて認識しました。ICT化されることで、情報の見やすさや記入・送受信の手間が改善されると思います。
- ・共通ツールを活用することは、患者様自身だけではなく、支援者にとっても有益をもたらすということを再度深めることが出来ました。
- ・情報共有、様式の統一などいつも感じている問題ではありますが、同じ事業所内でもなかなか難しいと感じています。今後このサマリーが普及して当たり前のように活用できるようになってくれることを期待します。
- ・サマリーを見たことがなかったので参考にしたいです。
- ・目的も理由も理解しているが現在身近に触れる機会がない。
- ・末期がんでの在宅生活を望む方が増えてきている中で、医療と介護が互いに連携し、その人のQOLの向上を第一にフラットな協力ができればいいと感じました。
- ・医療・介護連携サマリーは内容が統一されており、非常に良い書式と感じております。個人的には応用ツール⑱は万能ツールとして、施設より医療機関の主治医へ状態を報告させて頂く際の書式として活用をさせて頂いております。まだまだ、独自のサマリーを活用している場合も見受けられますが、何かのタイミングで少しずつ連携サマリーを活用する変化を持っていくと良いと感じます。医療・介護連携サマリーをもっと身近に発信できるようになって欲しいです。ID-Linkと医療・介護連携サマリーの両方が発展していき、函館市がモデルケースとなる事に大きな夢を感じました。研修会を通じて非常に学ぶことが出来ました。ありがとうございました。
- ・7月からサマリーの利用を前向きに事業所内で検討します。
- ・当たり前に使わせて頂いていましたが、現在に至るまでの関わった皆様のご苦勞を感じました。ケアマネから連絡し情報を提供しても病棟対応ですからと全く情報がなく退院になったケースも多々ありますが、最近同じ様式での情報を頂くようになりました。
- ・サマリーを使用して、いろんな職場で連携していく、素晴らしいと思いました。
- ・書式等の統一により理解しやすくなる。手間がかからず共有できる。サマリーが出来までの経緯や、活用することによるメリットを教えて頂けたので今後もサマリーを使っていきたいと思いました。
- ・以前から入院時には医療連携サマリーを使用していました。今後も積極的に使用しつながら心を大切に共有ツールを育てていきたいと思っています。
- ・今度から評価基準を確認して記載するようにします。  
サマリー作成の経緯など知れてよかったです。
- ・ID-Linkを在宅で関わる介護分野でも活用できるよう期待しています。本人を取り巻く状況や希望について在宅と医療機関でオンライン上で共有していくことで、より本人・ご家族の希望に沿った医療・介護の提供につなげていけたらいいと思いました。
- ・本ツールが作成される以前の医療機関（特に医師）の取っていた方法の理解ができ、ツールを使用するメリットや使用方法も知ることができた。地域に身近な立場である当センターが医療機関に対して地域の情報を伝えられる良い機会にもなると思ったので、活用したいと思う。
- ・実際にどれくらいの機関が使用しているのかわからなかったが、こうして全体に周知する事で函館全体での使用と理解に繋がると感じました。
- ・道南地域での、医療、介護の、多職種連携のための素晴らしい情報共有ツールができていることを知りました。
- ・地域全体で様々な部署と連携ができICT化され今後、地域だけではなく全国に発展されたり災害時にも活用していけるという魅力があり、是非ともサクラになり役割を果たしていきたいと思っています。
- ・統一することで、無駄な時間を省き、新しい発展を目指せる。
- ・改めてサマリーの活用を考えていきたいと思っています。
- ・特記事項のまとめ方が参考になりました。普段から極力、記載するように意識しています。（本人、家族の性格や利用していたサービスの状況等）
- ・情報共有において、統一した形を導入することが分かりやすい情報に繋がるのだと学びました。
- ・市内で情報を共有できるシステムがあることを知らなかったので、視野が広がりました。
- ・卒後、各病院や医療施設に就職する学生へ向け、地域発展のために貢献できるよう情報提供させて頂きました。ありがとうございました。
- ・改めて記入方法などを確認することができ理解が深まりました。
- ・医療・介護連携サマリーが生まれる背景の、医師を頂点とした医療側の環境というものが全く外部の人間はわからなかった。このような背景等や、使用する事での利点について学べた事が大変ありがたいと感じた。
- ・岡田先生の思いが伝わりました。
- ・書式の統一はとても良い事だと思います。入院期間は病床回転率よりも個々の状態に合わせて行われると良い事を願っております。
- ・情報共有ツールがより広く活用されるように期待します。

#### 4. 今回のような研修会を続けてほしいですか？

・続けてほしい	122	(91.7%)
・どちらともいえない	6	(4.5%)
・続けなくてもよい	0	(0.0%)
・無回答	5	(3.8%)

##### 【ご意見等】

- ・継続する事で事業所内でも共有ツールを作成・利用する事を意識づけるきっかけ作りになると思いますので、是非定期的に発信してほしいです。
- ・記載方法など理解してやっているつもりだが、こういう機会があると善し悪しも含めて再確認できるので良いと思う。
- ・自分も、サマリーを使用して利用者様を、介護したり、いずれ自分もされる側になって、サマリーを使用していく、本当にいいと思います。
- ・ツールを浸透させ、活用度を高めるためには、繰り返しの研修は必要だと思います。
- ・サマリーの活用を促進していくためには必要と感じます。書式の内容が良い為、促進する事が大事です。
- ・研修を続ける事で、双方の意見交換ができ、より統一した書式を増やすことで業務効率が上がると思います。
- ・病院、介護施設等では必ず生命の維持と生活の維持が必要になってきます。現在、必要と思っていなくても後々必要になって来る知識や情報だと思うので継続して色々な研修を行って欲しいです。
- ・可能であれば、説明に加えて事例がもう少しあるとより理解が深まると感じました。
- ・これからも積極的に連携をしてもらいたいのでよろしくお願いします。
- ・社会人としてのモラル講習・病院看護師はなぜタメ口なのか。接遇講習・看取り士による自己満足ではない本当の看取りとは講習。
- ・導入すると看護師・ケースワーカーから入力の手間などがかかると言われて反対されています。トップダウンで言ってもらえればいいのですが、手間の削減でいい案などあれば教えて欲しいです。
- ・各職業団体での研修会（オンライン含め）で、動画供覧してもよければ、職業団体の研修会に組み入れることが可能だと思います。
- ・医療機関の視点について知ることが出来るため、理解や今後の対応について参考になっているので助かっています。
- ・医療と介護の連携についての成功例など具体的な事例を知りたいです。又は末期がん患者の在宅支援での医療と介護、及び医療保険、介護保険のすみわけに関しても、事例形式で利用者様本位の立場で流れがわかると助かります。
- ・今後もオンラインで見られると嬉しいです。
- ・現在、コロナ禍での研修が（集まって）少なく以前よりも他の方々との関わり少なく情報収集が少ないと感じている。
- ・コロナ禍にて研修に参加する機会が減っている為に、動画で参加できる研修であれば介護職員も参加がしやすい。
- ・現状の把握、情報収集希望のため継続して欲しい。
- ・今後も宜しくをお願いします。
- ・コロナ禍で研修に参加することが出来ない事。このような動画での研修は自分のタイミングで閲覧し参加出来る事がメリットです。
- ・勉強不足な部分も多い為、是非とも継続し身に着け実践していきたいと思います。
- ・空いてる時間に何度でも見れるのがいいです。
- ・動画視聴可能期間が長かったので、助かった。

#### 5. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

##### 【具体的な内容等】

- ・連携サマリーのルーツを知り、皆様の苦勞が理解でき良かったと思います。今後は早く、電子化され、自分でも記入する事が少なくなると思います。連携を行った事例等。
- ・サマリーの在宅患者におけるケア会議での活用など例があれば教えて欲しいです。

- ・サマリー活用の事例検討会（架空事例の情報をサマリーに実際に各職種で記入して供覧する）等があると、活用に一步踏み出せる機会になると思います。
- ・ツールを利用した多職種連携での具体的な成功事例の発表やツールを利用していないがために問題が起きた事例発表等、ツールの必要性を感じられるような研修。
- ・介護施設と医療機関の連携
- ・タスクシフト関連。患者さんの医療介護提供を個別対応していくために多職種の連携と学習は必須とと思います。今後タスクシフトが進められていくと予想しています。シフト実現にむけ、あらゆる垣根を越えていくために必要な知識とスキルを共有していく事がさらに重要かと思えます。
- ・外国人患者の受け入れ対応についての研修会を希望します。  
在宅介護に関わる全てをもっと教えて頂きたいです。
- ・BCP作成について。
- ・薬剤師の立場で、わがままかもしれませんが、居宅業務に参入したい保険薬局は多くあるが、うまくできていない。気軽に連携し業務を推進していけるような環境にしたい。薬剤師をうまく活用できるような研修会ができればいいな～とっております。ただ利益企業である大手チェーン店が関わると、また面倒なことになるそう。
- ・介護の現実的なエピソードをもっと知りたいです。
- ・訪問診療やレスパイト入院についての活用について・問い合わせ先・対象範囲・空き状況など。
- ・よく分かりませんが、介護の関わる事、いろいろ受けたいと思います。
- ・衛生管理、パーキンソン病、褥瘡、終末期ケアのポイント
- ・現在在宅業務を行っているため、それに関する研修会を希望します。
- ・癌治療について。
- ・看取りについて・在宅での訪問診療時のやり取り等。
- ・病院側の話をきき介護側で出来る事を増やしていきたいです。
- ・トラブルに備え、皆さんの体験談をお聞きしたい。
- ・事例的な感じや、事業所⇔病院でのやり取りで良かった事・やりずらかった事等を紹介してほしいです。
- ・訪問時亡くなられていた時の対応について。
- ・災害時の医療、介護との連携、対応、やるべきこと などについて・・・
- ・お互いの業務効率を上げるための意見交換会。

## 6. 今回のような動画配信での研修会はいかがでしたか？

・よかった	127	95.5%
・どちらともいえない	1	0.8%
・よくなかった	0	0.0%
・無回答	5	3.8%

### 【ご意見等】

- ・岡田先生のお話は、分かりやすくとてもよかった。内容がまとまっているので、時間も設定し視聴可能となる。岡田先生が話したように以前はDrは「怖い」イメージが強かったが、現在はケアマネに対して連携の意識があり仕事がしやすくなった。
- ・医師から見た医師の印象や現状等を聞くことが出来た。
- ・ICT化することで、情報共有という本来の目的以外にも、業務改善にも大きな波及が見込まれると思います。クラウドベースで運用すれば行政から補助も得られるのではないのでしょうか。期待しています。
- ・初めて聞くことも多くとても勉強になりました。解りやすい勉強会で理解がすぐ出来当施設でも全員が把握し活用していきたいと思えます。
- ・聞きやすく解りやすかった。
- ・聞き直しができる。
- ・自分の時間で視聴できるので、この形での研修や講義は参加しやすいです。
- ・岡田医師の動画再生時に何度かフリーズすることがありました。短時間で回復したのでそのまま視聴させて頂きました。
- ・動画の長さも、丁度いいです。（集中して観られる時間）
- ・対象期間内であれば、空いている時間に視聴できるので良かった。
- ・医師に役割が集中しているように感じました。たとえば、医師の指示が無くてもケアマネジャーの判断でケアの追加などが出来るようになった方が、効率的ですぐ対応できると思えました。医師指示を仰ぐと、とかく遅くなりがちです。国にあげてほしいです。

- ・再生もスムーズに出来、聞きやすい内容だった。
- ・聞きやすくとてもスムーズに思いました。
- ・視聴可能期間もある程度長いので、自分の予定に合わせて視聴できるのでよかった。
- ・気になった部分が何度も再生できるので良いと思いました。
- ・見やすく聞きやすい動画で、大変良かった。
- ・途中で何度も止まってしまい、見直した。
- ・自宅で動画を閲覧することができ、ありがとうございます。
- ・簡単に動画が見れるようにしていただけると助かります。
- ・特になし。聞きやすかったです。
- ・普段、会場に行けない職員も動画配信だと参加できるので良いと思いました。
- ・動画配信は、視聴側の都合で視聴する事や動画の巻き戻しが出来るため、ありがたいと感じております。
- ・後半で途中停止が3回あったが、速度を上げて見られるのは効率が良かった。